

文教福祉常任委員会 会議録

令和4年6月13日（月）午前10時00分～
小美玉市役所 3階 議会委員会室

小美玉市議会

文教福祉常任委員会

令和4年6月13日(月)午前10時00分～

議会委員会室

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 執行部あいさつ
4. 議事
 - ① 議案第43号 令和4年度小美玉市一般会計補正予算(第3号)
 - ② その他
 - ・議会報告会について
5. 閉会

出席委員（6名）

1 番	山 崎 晴 生 君	4 番	島 田 清一郎 君（副委員長）
7 番	鈴 木 俊 一 君	8 番	村 田 春 樹 君（委員長）
1 1 番	谷 仲 和 雄 君	1 4 番	福 島 ヤヨヒ 君
1 8 番	市 村 文 男 君	1 9 番	荒 川 一 秀 君（議長）

欠席委員（なし）

付託案件説明のため出席した者

市 長	島 田 幸 三 君	教 育 長	羽 鳥 文 雄 君
保健衛生部長	鈴 木 定 男 君	医療保険課長	重 藤 辰 雄 君
健康増進課長	小 貫 智 子 君	健康増進課 参 事	関 口 茂 君
福 祉 部 長	藤 田 誠 一 君	社会福祉課長	岡 野 あけみ 君
介護福祉課長	太 田 由美江 君	福祉事務所 小 川 支 所	小 川 和 夫 君
福祉事務所 美野里支所	菊 田 裕 子 君	文化スポーツ 振 興 部 長	藤 枝 修 二 君
生涯学習課長	田 山 智 君	スポーツ推進 課 長	鈴 木 和 弘 君
生活文化課長	片 岡 理 一 君	教 育 部 長	滑 川 和 明 君
教育委員会 理 事	佐 藤 雅 記 君	教育指導課長	長 谷 川 正 幸 君
教育企画課長	比 気 龍 司 君	子 ども 課 長	尾 形 健 君

議会事務局職員出席者

書 記 深 作 治

午前 9時56分 開会

◎開会の宣告

○副委員長（島田清一郎君） おはようございます。ただいまより文教福祉常任委員会を開催いたします。

初めに、委員長挨拶、村田委員長お願いいたします。

○委員長（村田春樹君） 皆様、改めましておはようございます。

本日は、島田幸三新市長となって、初の常任委員会でございます。

また、執行部の皆さんも、だいぶ入れ替わりがありましたので、自己紹介のほうを、あとでよろしくお願ひしたいと思ひます。

本日の議案は、1議案となっておりますが、執行部の皆さま方におかれましては、明快な答弁をされますよう、よろしくお願ひ申し上げます。以上簡単ではございますが、よろしくお願ひいたします。

○副委員長（島田清一郎君） ありがとうございます。

続きまして、執行部挨拶、島田市長お願ひいたします。

○市長（島田幸三君） 改めまして、おはようございます。コロナもだいぶ収束と言ひますが、数は減ったんですけども、ここ県内2、3日子どもたち学校や、福祉施設でクラスターが発生しているということで、大変まだまだ危惧されております。文教福祉委員会の皆さまには、委員長はじめ、委員の皆さまには、慎重なるご審議のほどをよろしくお願ひ申し上げまして、一言ご挨拶に変えさせていただきます。

○副委員長（島田清一郎君） ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。議事進行は委員長にお願ひいたします。

○委員長（村田春樹君） 議事に入る前に、本日、植木議員が傍聴いたします。また、本日は、4月の人事異動後初めて、執行部が全員揃う委員会となりますので、自己紹介をお願ひします。

（執行部および委員 自己紹介）

それでは、本日の議題は、6月10日に付託された議案審査付託表のとおりであります。関係資料につきましては、スマートディスカッションに保存されています。準備はよろしいでしょうか。

当委員会の議事の進め方でございますが、質疑の方法は、一問一答方式とし、一人の方が

すべて終了するまで質疑を続けることとします。簡潔かつ明瞭になされ、重複質疑を避けられますよう、よろしくお願いいたします。

また、執行部においても、明快な答弁をお願いいたします。なお、執行部が即時に答弁しがたい質疑があった場合には当該質疑に対する答弁を一時保留とし、委員には次の質疑をお願いいたします。一時保留にした答弁は、執行部において整い次第、再開することにいたします。各委員におかれましては、よろしくご協力くださいますようお願いいたします。

なお、会議録作成の都合上、発言の際はマイクを使っていただき、質疑が終わりましたら、必ず電源をお切りいただきますようお願いいたします。

それでは、これから付託議案の審査に入ります。議案第43号 令和4年度小美玉市一般会計補正予算（第3号）（当委員会所管事項）について議題といたします。

執行部より説明を求めます。

関口健康増進課参事。

○健康増進課参事（関口茂君） 議案第43号 令和4年度小美玉市一般会計補正予算（第3号）のうち、文教福祉常任委員会所管事項について、ご説明申し上げます。説明は、着座にて説明とさせていただきます。

5ページをお開きください。

まず、始めに健康増進課所管の歳入でございます。16款国庫支出金、1項国庫負担金、2目衛生費国庫負担金、1節保健衛生費負担金、新型コロナウイルスワクチン接種事業負担金2,873万3,000円。その下2項国庫補助金、3目衛生費国庫補助金、1節保健衛生費補助金、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金2,089万円、負担金、補助金ともに新型コロナウイルスワクチン接種事業への充当財源でございます。以上でございます。

○委員長（村田春樹君） 長谷川教育指導課長。

○教育指導課長（長谷川正幸君） 教育指導課所管になります。その下、6目教育費国庫補助金、2節小学校費補助金、説明欄、学校保健特別対策事業費補助金を202万3,000円、3節中学校費補助金、説明欄、学校保健特別対策事業費補助金を112万5,000円、それぞれ増額補正をお願いするものでございます。

○委員長（村田春樹君） 片岡生活文化課長。

○生活文化課長（片岡理一君） 続きまして、歳出となります。7ページをお願いします。2款総務費、1項総務管理費、17目市民文化交流費、補正額142万6,000円は、説明の欄2芸術文化振興事務費における委託料の増額をお願いするものでございますが、この内容は、先日、

議員の皆さまに、タブレットにてご連絡をしたNHKのど自慢が小川文化センターアピオスで開催となったことによる計上となっております。

まず、警備委託料22万円は、開催日当日となる9月11日曜日及び前日の予選会での来場者や駐車場誘導等の警備員配置費用となります。

仮設舞台架設撤去委託料71万5,000円及びその下、大ホール座席一時撤去及び再設置業務委託料39万2,000円は、舞台の奥行きを確保するための仮設舞台設置等と、仮設舞台設置スペースの関係で座席の撤去等を行うための費用計上となり、その下、横断幕作成業務委託料9万9,000円計上による補正増をお願いするものです。

○委員長（村田春樹君） 尾形子ども課長。

○子ども課長（尾形 健君） その下、3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、財源内訳補正として、国補助金の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金219万3,000円を増額し、一般財源を同額、減額するものでございます。

○委員長（村田春樹君） 関口健康増進課参事。

○健康増進課参事（関口茂君） その下、健康増進課所管でございます。

4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費、2保健衛生事務費、次の8ページ、2目予防費、2予防接種事業につきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当するための財源内訳補正でございます。

4款衛生費、1項保健衛生費、2目予防費、3新型コロナウイルスワクチン接種事業、7節補償費、保健事業報償費1,040万4,000円の補正増、内容につきましては、集団接種協力の医師、看護師分でございます。

10節需用費、3食糧費9万9,000円の補正増。内容は、集団接種協力の医師分の食糧費でございます。

11節役務費、1通信運搬費155万1,000円の補正増でございます。こちらは4回目ワクチン接種券発送郵便料でございます。

3手数料90万円の補正増。内訳といたしましては、茨城県国保連合会への事務手数料でございます。

12節委託料3,674万1,000円の補正増。内訳としましては、接種券発行等作成処理委託料363万円、こちらも4回目ワクチン接種でございます。

コールセンター運営委託料942万円、接種委託料1,832万9,000円、こちらは医療機関によるワクチン接種料でございます。

ワクチン等管理事務委託料79万2,000円、こちらはディープフリーザといたしましてワクチンを保管する冷凍庫の管理委託料の支払いです。

つづきまして、被接種者送迎委託料80万円、予防接種会場運営職員派遣委託料377万円、こちらも4回目接種でございます。

つづきまして、13節使用料及び賃借料、備品借上料45万8,000円の補正増、こちらはディープフリーザ用非常用電源でございます。

続きまして、4新型コロナウイルス感染症予防事業につきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金と一昇金属からの寄付金100万円を充当するための財源内訳補正でございます。以上でございます。

○委員長（村田春樹君） 長谷川教育指導課長。

○教育指導課長（長谷川正幸君） ページ飛びまして10ページをご覧ください。10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費、説明欄の4学務一般事務費、18負担金補助及び交付金の1負担金、中学校各種負担金を261万円増額補正をお願いするものでございます。

内容といたしましては、令和3年度新型コロナウイルス感染拡大のためスキー教室を実施できなかった、美野里中学校2年生、玉里学園義務教育学校8年生のスキー教室負担金を増額するものでございます。

○委員長（村田春樹君） 比気教育企画課長。

○教育企画課長（比気龍司君） 続きまして、教育企画課所管でございます。同じく10ページの一番下の段でございます。10款教育費、2項小学校費、1目学校管理費、14節工事請負費、説明の欄2、小学校施設管理費の2,285万8,000円につきましては、現在未使用の羽鳥小学校プール及び付属棟を解体し、学校敷地の有効活用等を図るための解体工事費を補正増するものでございます。

○委員長（村田春樹君） 長谷川教育指導課長。

○教育指導課長（長谷川正幸君） その下、説明欄3小学校情報教育関係経費、12委託料、学校情報通信ネットワーク構築業務委託を1,204万9,000円の増額補正をお願いするものでございます。内容といたしましては、GIGAスクール構想に基づく学校のネットワーク整備として、理科室や音楽室などの特別教室へのWi-Fi環境を整備するものでございます。

その下、説明欄4保健衛生管理費、1報酬、学校医報酬を20万円の増額補正をお願いするものでございます。内容といたしましては、県央医師会及び石岡医師会からの要望により、羽鳥小学校・玉里学園義務教育学校の学校医を、それぞれ1名増員するものでございます。

その下、10需用費、1 消耗品費を405万円の増額補正をお願いするものでございます。内容といたしましては、国の補助金を活用して、抗原検査キットや消毒液など、学校等における感染症対策の消耗品を購入するものでございます。

続きまして、その下、10款教育費、3 項中学校費、1 目学校管理費、説明欄3 中学校情報教育関係経費、12委託料、学校情報通信ネットワーク構築業務委託を344万3,000円の増額補正をお願いするものでございます。内容といたしましては、2 項の小学校費のところでご説明した内容と同様で、特別教室へのWi-Fi環境を整備するものでございます。

その下、4 保健衛生管理費、10需用費、1 消耗品費を225万円の増額補正をお願いするものでございます。内容といたしましては、小学校費のところでご説明した内容と同様で、学校等における感染症対策の消耗品を購入するものでございます。以上でございます。

○委員長（村田春樹君） 比気教育企画課長。

○教育企画課長（比気龍司君） 続きまして、教育企画課所管でございます。同じく11ページの一番下の段です。10款教育費、4 項幼稚園費、1 目幼稚園管理費、12節委託料、説明の欄3 幼稚園施設管理費の550万円につきましては、閉園した旧堅倉幼稚園園舎等の解体工事を行うための実施設計委託料を補正増するものでございます。

○委員長（村田春樹君） 田山生涯学習課長。

○生涯学習課長（田山 智君） 続きまして、生涯学習課所管の補正予算の説明となります。12ページをお願いします。10款教育費、5 項社会教育費、1 目社会教育総務費の説明欄2 社会教育総務事務費については、49万円の補正増をお願いするものです。内容としましては、18節負担金補助及び交付金、2 補助金、各区公民館整備費補助金49万円の増額補正で、江戸住宅区・第二東宝区の改修に伴う補助金となります。江戸住宅コミュニティーセンター、ホール防災カテーン施工とホール天窓ガラスフィルム張り工事を行うものです。第二東宝公民館トイレ改修、和式から洋式化への改修工事を行うものです。

同じく、説明欄5 成人式典事業費については、23万1,000円の補正増をお願いするものです。内容としましては、12節委託料、ダイジェスト動画制作委託料、23万1,000円の増額補正を行うものです。これまで、成人式として実施していた、記念式典について、成年年齢引き下げに伴い、今年度からは二十歳のつどいとして実施します。記念式典の様子などを撮影して、ダイジェスト動画編集を行い、YouTubeにて、限定公開を行うものです。

続きまして、2 目公民館費、説明欄8 農村環境改善センター施設維持管理費については、43万5,000円の補正増をお願いするものです。内容としましては、14節工事請負費、多目的ホ

ール天井修繕工事、43万5,000円の増額補正です。3月16日発生の福島県沖を震源とする、地震が発生しました。その際、多天井板のゆがみが見られたことから、修繕工事を実施するものです。

続きまして、3目図書館・資料館費、説明欄3小川図書館・資料館施設維持管理費については、39万6,000円の補正増をお願いするものです。内容としましては、14節工事請負費、小川図書館・資料館玄関外床修繕工事39万6,000円の増額補正です。小川図書館資料館の玄関外床、階段部分のタイルが剥離しており、危険であるため、修繕工事を実施するものです。

続きまして、4目やすらぎの里運営費、説明欄2やすらぎの里施設維持管理費については、125万6,000円の補正増をお願いするものです。内容としましては、修繕が2件あり、1件目は、10節需用費、6修繕料として20万円の増額補正です。学芸棟の浄化槽ブロワーを交換する修繕を実施するものです。2つあるブロワーの内1つが故障しているため、交換するものです。

2件目は、14節工事請負費105万6,000円の増額補正です。学芸棟の中の、文芸棟に設置している、エアコンの故障による室外機などの交換・修繕等の工事を実施するものです。

説明は以上となります。

○委員長（村田春樹君） 以上で説明は終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手によりこれを許します。谷仲委員。

○11番（谷仲和雄君） おはようございます。私のほうから1点お伺いをさせていただきます。ページ11ページの小学校情報教育関係経費、同じく中学校情報教育関係経費の説明のほうで、特別教室のWi-Fi環境の工事というところでご説明をいただきました。このGIGAスクール構想の中で、あとは文科省国の教育の方針というのは、アクティブラーニングというスタンスで、要は一方向的な自動的な講義形式の授業ではなく、児童、生徒さんが能動的に考えて学習をしていく。また、具体的にはグループディスカッションですとか、ディベートですとかグループワークなどを通して、いろいろ学習されていく中でですが、そこで1人1台のタブレットの使い方のところでは1点お尋ねしたいところがございます。それは、例えば授業中に児童、生徒さんが授業を聞いていてわからない、これって何かわからないかなというときに、よく大人でしたらタブレットですとか、スマホですぐ調べて昔の辞書みたいな使い方をさせていただいていますが、そういったときに例えば授業が進んでいく中で、児童、生徒さんがそういうわからないことを自分でタブレットを通して検索とか、探すことが普段できるような形になっているかどうかという点をお尋ねしたいと思います。よろしく

お願いいたします。

○委員長（村田春樹君） 佐藤教育委員会理事。

○教育委員会理事（佐藤雅記君） 今、ご質問あったところですけども、今、学校では、主体的、対話的に深い学びということで、タブレット等を活用して学習を進めております。今、谷仲委員からもありましたように、辞書的な活用、調べる学習的な活用は、各教室で十分できるような環境になっています。以上です。

○委員長（村田春樹君） 谷仲委員。

○11番（谷仲和雄君） その1点だけ確認いただきました。ありがとうございました。

○委員長（村田春樹君） 島田委員。

○6番（島田清一郎君） 11ページの堅倉幼稚園の解体工事なんですけども、修繕費だったらここで補正ならわかるんですけども、解体工事当初予算で間に合わなかったのでしょうか。

○委員長（村田春樹君） 比気教育企画課長。

○教育企画課長（比気龍司君） 工事費ということで、当初は平成4年度には対応できる方向でやっておりましたが、結果的に見送ったという形になりまして、今回の補正計上させていただいております。以上です。

○委員長（村田春樹君） 島田委員。

○6番（島田清一郎君） 見送った理由を知りたいんです。

○委員長（村田春樹君） 比気教育企画課長。

○教育企画課長（比気龍司君） 見送った理由再度確認して、後ほどご報告でよろしいでしょうか。

○6番（島田清一郎君） はい。

○委員長（村田春樹君） 鈴木委員。

○7番（鈴木俊一君） 3点、8ページの、4款衛生費の中の説明欄の新型コロナウイルスワクチン接種事業の、12の80万円の被接種者送迎委託料は、タクシーで接種する人を送り迎えするという、どういう内容でしょうか。

○委員長（村田春樹君） 関口健増進課参事。

○健康増進課参事（関口 茂君） 只今のご質問ですが、タクシーでの送迎ということで、接種会場までお越しいただく予算でございます。

○委員長（村田春樹君） 鈴木委員。

○7番（鈴木俊一君） そうすると、これは希望すれば誰でも乗り合ってタクシーを利用する

という、利用の仕方はどういう仕方ですか。

○委員長（村田春樹君） 関口健増進課参事。

○健康増進課参事（関口 茂君） こちらは、元々タクシー券をご利用されている方と、免許証を返納された方が随時出てきますので、その方々にタクシー券の発送をさせていただいております。

○委員長（村田春樹君） 鈴木委員。

○7番（鈴木俊一君） ありがとうございます。2点目は、10ページの美野里中のスキー合宿の負担金、これは個人負担もして更に足りない分を市で負担するという、どういう負担金か内容をお願いします。

○委員長（村田春樹君） 長谷川教育指導課長。

○教育指導課長（長谷川正幸君） スキー教室のほうは、市のほうから毎年1人9,000円という補助をしております、その負担金になります。去年実施できなかった学年、美野里中学校、玉里学園の2年生の増額補正になります。

○委員長（村田春樹君） 鈴木委員。

○7番（鈴木俊一君） ありがとうございます。最後3点目が、11ページの堅倉幼稚園の解体をするというお話だったんですけども、もう少し流れと解体、この間何年か前に耐震工事をやったばかりでまだ使えるかなと思ったんですけど、流れの状況を教えてください。550万円のところです。

○委員長（村田春樹君） 比気教育企画課長。

○教育企画課長（比気龍司君） 質問の内容は、今回幼稚園の解体工事実施設計発注に至る経緯ですね。美野里地区の公立幼稚園は、よつば幼稚園に統合されております。堅倉幼稚園は、幼稚園敷地が借地契約となっており、園舎や倉庫等解体のうえ、地権者へ返還する必要があります。今回その手続きに入るため、解体の実実施設計委託料を提示した経緯がございます。以上です。

○7番（鈴木俊一君） 以上です。

○委員長（村田春樹君） 山崎委員。

○1番（山崎晴生君） ありがとうございます。11ページの消耗品費の抗原検査キット消毒液というご説明があったんですけど、これ現在あるものプラスアルファ備蓄ということですか。

○委員長（村田春樹君） 長谷川教育指導課長。

○教育指導課長（長谷川正幸君） 新規に抗原検査キットのほうを、市内の生徒の人数分、1回できるような数を揃えるものとなっています。

○委員長（村田春樹君） 山崎委員。

○1番（山崎晴生君） ありがとうございます。抗原検査キットのみという形ですか。

○委員長（村田春樹君） 長谷川教育指導課長。

○教育指導課長（長谷川正幸君） 買うものとしては、抗原検査キットを主に購入する予定で、財源的なところで予備のものが入ってくれば、前年度までに消毒液とかそういったものも予算の範囲内で購入もできればと考えております。以上です。

○委員長（村田春樹君） 山崎委員。

○1番（山崎晴生君） ありがとうございます。抗原検査キットは使用期限が結構ありまして、それ切れると使えなくなっちゃうんで、あまりに一気に買いすぎると、あとあと買ったのはいいけど使えなくなっちゃうということがあるので、できるだけ一気に買わずに、使用期限を見て買っていただければと思います。以上です。

○委員長（村田春樹君） 福島委員。

○14番（福島ヤヨヒ君） では、いくつか聞かせていただきたいと思います。まずはじめに、7ページの芸術文化振興事務費のところ、のど自慢が来るということで、アピオスのホールの床板全部増やす、舞台を増やす、仮設でつくる時ですけれども、多分オーケストラキットになりうるあの椅子を全部取りはらうのかなと思っていますが、舞台をどの程度出す予定なのか、わかれば教えていただきたいと思っています。

○委員長（村田春樹君） 片岡生活文化課長。

○生活文化課長（片岡理一君） 福島委員のご質問にお答えいたします。舞台につきましては、約1メートルほど手前にせり出すような形で予定しております。それに伴いまして、舞台に近い座席につきましても撤去を予定しておりますので、具体的に何席撤去するかというのは今後、仮設舞台の設置状況によりまして、対応するようなことになっております。よろしく申し上げます。

○委員長（村田春樹君） 福島委員。

○14番（福島ヤヨヒ君） わかりました。この予算は全然別枠で今回の補正に申請するということですか、予算をお願いするという形になるわけですね、これは確認です。わかりました。

続きまして、7ページのコロナワクチン接種の関係で、寄附金がございますよね。この寄

付金どういう目的で寄附されたのか、わかればそのへん教えていただけたら有り難いです。

○委員長（村田春樹君） 関口健康増進課参事。

○健康増進課参事（関口 茂君） こちらは、一昇金属さんという会社があるんですけども、こちらの方に感染症予防のほうにお使いくださいということで、目的はお任せしますという寄附金でございます。以上です。

○委員長（村田春樹君） 福島委員。

○14番（福島ヤヨヒ君） わかりました。上手に活用していただけたら有り難いと思いますが、順番に行きますか、わかりました。

続きまして、11ページの先ほど山崎委員が質問されていましたが、コロナのキットを消耗品費で買うと。期限があるので、しっかりきちんと管理しながら買っていかないと、今、ワクチンが期限切れで廃棄になるというそういうこともありますので、しっかり管理していただきたいのですが、どういうときに使用するのか、使用をどう考えているのか、お聞かせください。

○委員長（村田春樹君） 長谷川教育指導課長。

○教育指導課長（長谷川正幸君） 抗原検査キットの使用機会なんですけども、中学校で言いますと、感染拡大を抑えるため部活動なんか、遠征で大会に参加するとか、そういったときに使用があるのかなという予定はしています。あとは受験とかのときに、陰性証明書が必要な場合も出てくると思いますので、そういった場合のための使用というのが考えられております。

○委員長（村田春樹君） 福島委員。

○14番（福島ヤヨヒ君） 学校の中で使用するというのは、どれだけ準備するかということもありますので、使用の仕方がこれから問題になってくると思うんです。そこらへんは十分検討しながら、そして感染拡大が広がらないような方法として考えながら使用していただきたいなと思っておりますので、あわせてよろしくお願ひしたいと思います。

最後もう1点、12ページの成人式二十歳のつどいということで、今年度は事業展開されるという話ですけれども、ダイジェスト版これをどう活用するか、先ほどYouTubeで特定の人と言われましたけど、どういう形でどういうふうに活用していくのか、一般の人が見るためにはどうしたらいいのか、家族だったら関係者から見れるんですけども、その他の人たちがどうしても見たいというときは、どうしたらいいのか、そこらへんのところ説明お願ひします。

○委員長（村田春樹君） 田山生涯学習課長。

○生涯学習課長（田山 智君） 動画配信につきましては、令和2年度の成人式典から、コロナ禍になってからの成人式ということで、記念式典のダイジェスト版を作成して配信しています。これにつきましては、参加者と対象の欠席者に対しての限定配信ということで、QRコード等の通知を送付しています。そこにアクセスしないと見られないため、一般の方は見られないということになっています。対象者が見せたいという方にその情報を提供することによっては、他の方が見ることは可能ではありますが、全ての方への配信については、今のところは考えておりません。

○委員長（村田春樹君） 福島委員。

○14番（福島ヤヨヒ君） こういうものは、管理がなかなか大変だということもわかっていますので、そこらへんの画像管理状況をこれからも把握できる状況、そして一般の人が見るか、それなりの関係者だと思いますけど、そういう方にこういうことをやっていますよということだけは知らせてもいいのかなという気がしますので、そこらへんよく検討しながら何が一番いいのか市民に対しても、成人式はこういうことをやっていますよということ、どこかできちんと知らせていただけたら有り難いかなと思っていますので、その点よろしく願いいたします。以上です。

○委員長（村田春樹君） 荒川議長。

○議長（荒川一秀君） 私のほうから質疑とかなんとか私のほう、議長がどうのこうのやるのはまずいんだろうけども、ただ、発言してもいいという許可を持っていますので、先ほどの11ページの堅倉幼稚園これは今までずっと美野里の時代から借地でずっといたんですよ。借地料が一番高いんですよ。なんとかそこを買い上げようとしていたんですけど、なかなか地権者の人の協力がもらえなかった経緯があって、こういう形になったと思うんですけども、島田委員の当初予算の話もそうなんですけども、相手があることなので、多分去年の12月のヒアリングには間に合わなかったんだと思うですね。そのへんのところもあると思います。あくまでも市の土地だったならばすぐにそういうふうになったら計上したと思うんですけども、そのへんの問題もあるのかなと思っています。ただひとつ比気君今後いつ契約が切れているのかそのへんのところを教えてください。今後更地にして、気分よくお返しするんですよ。

○委員長（村田春樹君） 比気教育企画課長。

○教育企画課長（比気龍司君） 契約期間のほうなんですけども、借地とさせてただいている

のは今年度いっぱいでございます。なので、急ぐ必要があるということがひとつと、市の公共施設等建築物施設計画のほうでも、2030年までには解体するという計画でもありますので、そのあたりも踏まえて今後手続きを進めていきたいと考えております。以上です。

○委員長（村田春樹君） 島田委員。

○6番（島田清一郎君） わからないので教えてほしいんですけど、のど自慢やってNHKのほうからこちらのほうに見返りといったらおかしいんですけど、出演料といったら悪いんですけど、そういうのはないんですか。こちらで費用負担ばかりしているような感じなんですけど。

○委員長（村田春樹君） 片岡生活文化課長。

○生活文化課長（片岡理一君） NHKからの費用の負担はございません。ただ、全国放送となっておりますので、市のPRとしてはかなり有効な開催となっておりますので、ご理解いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○委員長（村田春樹君） 私のほうから1点、12ページの成人式典のダイジェスト動画制作委託料ということで、先ほど福島委員のほうで質問していたと思うんですけども、この動画配信の期間は限定なんですか。何ヶ月間動画をYouTubeに載せておくのか、そこらへんお願いいたします。

田山生涯学習課長。

○生涯学習課長（田山 智君） 期間は定めておりません。今、現在でも令和2年度のYouTubeのQRコードを入れれば見ることができますので、今回議案質疑で、植木議員の方からご質問いただきまして、動画再生回数を集計しました。質問にお応えする金曜日に、再集計を行い、確認したところ若干ではありますが動画再生回数に伸びがありましたので、一部の方が閲覧をされているというふうに理解をしております。

○委員長（村田春樹君） 実際QRコードがあれば、誰でも見られる状態だということなんですけれども、もしそれが例えば悪意のある人たちに渡ってしまったり、もう20歳になっているから大人でしょうけれども、何か犯罪に巻き込まれるケースだってあるかもしれないところは、しっかりとそこらへん確認しておいて、今後例えば1年間だけ限定的に配信するとか、そういうことを考えていただければいいのかなと思うんですけども、そこらへんお聞きしたいと思います。

田山生涯学習課長。

○生涯学習課長（田山 智君） これからの動画配信等につきましては、当該年度の対象者で

構成する実行委員会を組織して行っておりますので、実行委員会に諮りまして、今、委員長ご指摘の配信期間などについて、検討していただきたいと、説明して参りたいと思います。また、付け加えますが、対象者への通知には、対象者及びご家族の方のみの限定公開ですので、趣旨をご理解いただきたいということで、QRコードを他者には公開しないようお願いはさせていただいております。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。山崎委員。

○1番（山崎晴生君） 12ページの、やすらぎの里施設維持管理費のエアコン修繕工事105万6,000円なんですけど、これって修理ですか。

○委員長（村田春樹君） 田山生涯学習課長。

○生涯学習課長（田山 智君） エアコンは1台で文芸棟の各部屋を全て賄えるエアコンになっておりまして、家庭用のエアコンと違い、比較的大きな室外機を設置しており、文芸棟内を配管で回してエアコンに見えないような形状となっており、エアコンが付いているのが見えにくいようなつくりになっているものの修繕工事となります。

○委員長（村田春樹君） 滑川教育部長。

○教育部長（滑川和明君） 先ほど、島田委員のほうから堅倉幼稚園の解体実施設計の予算計上を、当初に何故上げられなかったのかというご質問があったかと思いますが、令和3年度に、よつば幼稚園のほうが開校したということで、廃園になったあと、あそこの施設をどういうふうな利活用していこうかと、そういった諸々の検討と、借地で借りていましたので、そちらのほうの地権者といろんな調整も含めて、当初に本来載せられればよかったですけど、荒川議長のほうも補足としておっしゃっていただいたような経緯がございまして、今回6月補正ということで、計上させていただきましたので、ご理解をいただきたいと思います。

○委員長（村田春樹君） 島田委員。

○6番（島田清一郎君） 当初に載せきれなかったということですね。

○教育部長（滑川和明君） そうです。

○6番（島田清一郎君） あとは、幼稚園あと2つあると思うんですけど、納場幼稚園と羽鳥幼稚園、こっちのほうも近々の話があるのでしょうか。

○委員長（村田春樹君） 滑川教育部長。

○教育部長（滑川和明君） 納場は、建築物系個別計画のほうで、農村女性の家の機能移転ということでなっていますので、女性の家を解体した後に改修、羽鳥幼稚園のほうもあそこの部分についても今のところは利活用等がないような方向でいますので、解体ということで、

早急に対応して参りたいと思います。以上です。

○委員長（村田春樹君） ここで11時まで暫時休憩といたします。

午前10時48分 休憩

午前11時00分 再開

○委員長（村田春樹君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ声あり〕

○委員長（村田春樹君） ないようですので、以上で質疑を終結いたします。

次に、討論に入ります。

討論はございますか。

〔「なし」と呼ぶ声あり〕

○委員長（村田春樹君） ないようですので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

議案第43号 令和4年度小美玉市一般会計補正予算（第3号）について採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり可決すべきものと決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ声あり〕

○委員長（村田春樹君） ご異議なしと認め、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本日、当委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

続いて、その他ですが、追加で説明がある旨申し出がありましたので、執行部より説明をお願いします。小貫健康増進課長。

○委員長（村田春樹君） 小貫健康増進課長。

○健康増進課長（小貫智子君） このたび、石岡地域医療計画について改定されたので、ご報告いたします。

はじめに、この計画改定につきましては、令和4年4月7日に、石岡市・かすみがうら市・小美玉市の首長及び石岡市医師会長の計4名が委員として構成される石岡地方医療対策カンファレンスにおいて、決定がなされ、それを受けまして、このたび報告をするものです。

一部改正の経緯でございますが、資料はないため口頭で説明します。

まず、改定前の計画につきましては、令和2年1月に、石岡市医師会管轄の3市が連携協力し、持続可能な医療体制で誰もが安心して暮らせる石岡地域を基本理念として、石岡市が取りまとめ、策定されました。

石岡地域の医療課題に対する具体的な対策として、その当時は、病院の再編統合と公立化、及び病床の再配分の2点について盛り込まれておりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、医療を取り巻く状況が大きく変化し、公立病院を運営する予定であった経営母体が計画を辞退したことにより、再編統合が断念されたため、本計画の見直しを行い、改定に至ったものです。

計画改定の内容につきましては、概要版で説明させていただきます。

1枚目では、計画のあらましと、石岡地域における医療の現状がデータとあわせて記載されています。

2枚目になりますが、左側、石岡地域に必要な医療提供体制、基本理念等につきましては、とくに変更はありません。

今回大きく改定された部分は、右側、行政が担う対策に係る取り組みについてです。

改定前に記載されていた、病院の再編統合と公立化及び病床の再配分についてすべて削除され、新たに4つの方針を掲げております。

内容としまして、1体制の維持では、病院群輪番制やこども休日診療、在宅当番医制など、現在3市で取り組んでいる事業について、継続して行う。

2体制の発展では、イ取り組みの例に挙げているふたつめ分娩を行える施設の開設支援など、不足する医療体制の構築に向けて、新たな支援策の展開を図る。

3人材の育成では、地元出身の医師等による出前授業を実施するなど、将来の医療従事者の育成に取り組む。

4医療ニーズの把握と情報の発信では、各媒体を活用した地域医療に関する情報の発信について、取り組むとしております。本市の対応といたしましては、改定前の計画とスタンスはまったく同様に、石岡市が主体となって取り組む各施策のうち、産科の新設、小児救急の拡充、救急体制の強化に限定し、連携を強化してまいります。

以上、報告とさせていただきます。

○委員長（村田春樹君） 以上で説明は終わりました。質疑はございますか。

鈴木委員。

○7番（鈴木俊一君） 病院がないことは大変なことです。具体的に分娩を行える施設の開設支援として、どうしているのか、わかりましたらお願いします。

○委員長（村田春樹君） 小貫健康増進課長。

○健康増進課長（小貫智子君） 民間の医療機関が開設することについての支援となりますので、手段とか方法とか、これについてはまず石岡市の対応を踏まえまして、3市で慎重に協議をして、連携をしていくこととなるかと思えます。水戸市の例でいきますと、おそらく考えられる例といたしましては、開設にあたって補助金を出すとかといったことが可能性の1つだと思われま。

○委員長（村田春樹君） 鈴木委員。

○7番（鈴木俊一君） そうすると、ここに産科の分娩を行える病院をつくりたいという医者がないと、いた場合には支援できるけど、いないというときにはなかなか難しいということですか。

○委員長（村田春樹君） 小貫健康増進課長。

○健康増進課長（小貫智子君） おそらく全国どこでも、産婦人科医の不足がありますので、おそらく茨城県内確保するのは大変困難だと思っておりますが、県と連携しての取り組みとなるかと思えます。

○委員長（村田春樹君） 鈴木委員。

○7番（鈴木俊一君） 是非、頑張ってほしいんですが、人材の育成のところ、学生の出前事業等ですけど、適切じゃない表現かもしれませんが、ご了承していただきたいのですが、今、私立の小学校だったり、中高一貫校だったり、私立の中学校だったり、学生というのはどういう対応をしているのか分かりませんが、医者になりたいという人を育てようとしたときに、言い方あれかもしれませんが、地元に残っている、医者を目指したい人なんか、私立の学校とかに行っちゃうような人が多いような気がするんですよ。そういう人たちじゃなくて、残っている人たちの中でも医者を目指している人もいると思いますが、この学生の出前授業というのは学生という定義は小学生なのか、高校生なのか、大学生なのか、学生というのはどういう定義でしょうか。

○委員長（村田春樹君） 小貫健康増進課長。

○健康増進課長（小貫智子君） 石岡市との協議の中では、イメージしているのは、公立の中学校の生徒と伺っております。以上です。

○委員長（村田春樹君） 鈴木委員。

○7番（鈴木俊一君） そうすると、地元の中学校残っている人、医者目指している人ということだと思えますけども、私立の中高一貫校だったり、こっから行っている人も多分いると思うんで、あとは私立の中学だったり、そういう人たちのほうが医者になる可能性が高いような人がいると思うんで、勿論地元でもいると思うんですけど、そういう人たちに、医者に残ってもらえるような指導を是非お願いできたらと思います。以上です。

○委員長（村田春樹君） 他に質疑はございますか。

福島委員。

○14番（福島ヤヨヒ君） では、その他のことで、お伺いしたいのですが、先ほど羽鳥幼稚園の今後のことについては、今まで何もなかったのとみたくなこと教育部長さんおっしゃいましたが、実は私、何回も一般質問を通して羽鳥幼稚園、これを今後活用させていただける方法はないのかと質問した経緯がございます。その後、いずれそんな会議を持つとか持たないとかという話もあったんですけども、今後あそこを活用したいという申し入れ書、地域の人たちが話し合いをできるような場所を、どこに行ったらそういう場所ができるのかというところからあるのです。具体的に言うと、私が持っている団体の中で、子ども食堂とか、高齢者サロンとか、そういうものがあそこでできたらいいなって話をちょこちょこしてるんです。女性団体もたくさんあって、会議をするにもここの本庁舎が公民館借りられていると小川、玉里があるからと言われますけど、美野里地区の多い人が、そこまで行って会議をするのも大変だなという思いもあって、気楽に使えるような場所として、そういうところを開放というか、地域全体として管理していただきたいというような形で、らせてもらえるというまず初めの会議というものはあるのかないのか、一般に募集するつもりがあるのかないのかから順次お伺いしたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○委員長（村田春樹君） 滑川教育部長。

○教育部長（滑川和明君） 福島委員のご質問で、そういった利活用になるときの住民向けの会議とかそういうのがあるのかどうかという話かと思うのですけれども、教育委員会のほうでは、調整のほうは担当してないので、総務の行政経営課のほうで、建築物系個別計画進行管理ということで、学校跡地等も含めても担当していますので、この委員会を通じて福島委員のご意見のほうをそちらのほうにつないだ中で、明確化していきたいと思います。

○委員長（村田春樹君） 福島委員。

○14番（福島ヤヨヒ君） 総務のほうにはかなり何回も質問したりして、ハッキリした答弁をいただけなかったんで、先ほど教育部長さんのお答えのほうに、皆さんの意見が何も無い

みたいなことを言われたので、どっかで急いで言わないと壊されちゃうなという気がしたものですから、今、お伺いしたんですが、堅倉小学校を壊すのは、このところが最終、壊す費用を出すというのは、ちょっとなんだか私としては総務が管轄するのであれば、総務が金出せばいいのに、なんでここで出すのに意見は総務逆だと思うんですよ。総務は金の管理をして、意見を聞くのはここだと思うんです。それが逆になっているから市民の声が届いていない、そんな気がするんです。そこらへんのところもうちょっと考えていただいて、市民たちがどうあそこを活用して、ほんとに桜が咲いて運動会もしてという思い出をもった人がいっぱいいて、まだ、トイレも直した、エアコンも付けた、それなのに壊す壊す、それしか総務は言ってくれませんでした。あそこをほんとに今の時点で高齢者の問題、子どもの問題、やるにはああいう場所でないとか、ほかのところ階段上がれないとか、高齢者も上れないとか、どこまでも行かれないという人たちのために、話を聞いてくれるのは私はこの場所ではないかなという気がするんです。総務はなんか総務ですって、全体の計画を立ててくださるけども細かいところまで目が行き届かないところがあるような気がするので、学区内とか、幼稚園単位の中の話となると、このところで、子どものこと、高齢者のこと、中身はやっているんだから、この場所で議論ができるようなことをしていただけたら有り難いと思っていますので、この点は要望をしておきます。よろしく申し上げます。以上です。

○委員長（村田春樹君） 谷仲委員。

○11番（谷仲和雄君） 私のほうから、その他のところで1点お伺いをさせていただきます。先だって一般質問のほうで、母子包括支援健康センター、通称子育て世帯包括支援センターと、子ども家庭総合支援拠点の一元化、相談窓口の一本化というところの答弁も踏まえ2項目お尋ねいたします。まず、1項目めでございますが、令和3年の第4回定例会で、私の一般質問の答弁の追跡ということで、茨城型地域ケアシステムを活用したファミリー支援による若年介護者支援、要はヤングケアラーの問題についての答弁を踏まえ、子ども課内の中で、子ども家庭総合支援拠点化に向けての取り込み状況というところの確認をしたいと思います。この本質問の答弁、要約というか、抜いたところがありますので、1回読んでいきます。

現在、子ども課内の家庭児童相談室におきましては、若年介護者に関わらず、全ての子どもと、その家庭を対象としたソーシャルワーク機能と、要保護児童等への支援業務の強化をはかるため、子ども家庭総合支援拠点として、拠点化に向けた体制整備の検討を進めているところであります。令和4年度までに全市区町村に子ども家庭総合支援拠点を設置するという国の方針に基づき、本市におきましても来年度、これは令和4年度ですね。からの設置に

向けて現在の家庭児童相談を確認、家庭相談員、母子、父子、自立支援員に加え、専門職として、常時2名の子ども家庭支援員を新たに配置するなど、支援拠点としての機能を拡充するための体制を検討しております。との答弁がございました。そこで1点目なのですが、今年度、令和4年度における家庭児童相談室の体制について、これをお尋ねしたいと思います。お願いします。

○委員長（村田春樹君） 尾形子ども課長。

○子ども課長（尾形 健君） 令和4年度の家庭相談員体制でございますが、今、現在3名の非常勤特別職を配置しております。

○委員長（村田春樹君） 谷仲委員。

○11番（谷仲和雄君） 3名の非常勤特別職ということで、この家庭児童相談室のほうに、専門職、専門性のある正規職員の方というのがいらっしゃるか、いるかないかだけで結構です。

○委員長（村田春樹君） 尾形子ども課長。

○子ども課長（尾形 健君） 正規職員でございますが、今のところございません。

○委員長（村田春樹君） 谷仲委員。

○11番（谷仲和雄君） ありがとうございます。そのところ確認です。

次、2項目に移ります。先ほども申しましたように、今定例会中の一般質問中の答弁にありました母子健康包括支援センター、通称子育て世帯包括支援センター、あとは子ども家庭総合支援拠点の一元化、相談窓口の1本化、これまでの懸案事項についてですね。まずは、国の子ども制作の動向というのが、妊娠期から成人まで、18歳、医療、保険、療育、教育、福祉の切れ目ない支援のためのプラットフォームとして、国の縦割りですとか、地方の横割り、施策の年代割、この弊害を解消すべく予算と権限をもつ、子ども家庭庁、2023年4月設置予定で進んでいますが、その設立に向けた議論が加速している状況です。また、本市に关しましては、妊娠期から新生児における子育て世帯包括支援センターの支援から、スクールソーシャルワーカーを核とした、幼保学校支援、また、家庭児童相談等々、妊娠期から出生にはじまり、新生児期、乳幼児期、学童教育、思春期の各段階を経て、大人成人になるまでの一連の過程における医療、保険、療育、教育、福祉の切れ目ない支援のための共通の土台づくりに関しては、各課連携の元取り組まれているところが現状だと思います。そこで、子ども家庭総合支援拠点の一方、子育て世帯包括支援センターこの大まかな定義だけ申し述べさせていただきますと、子ども家庭総合支援拠点は、子ども家庭支援員を中心に、0歳から

18歳までの全ての子どもと家庭、また、妊産婦を対象とし、ここですね、その福祉に関し、必要な支援に係る業務を行い、関係機関との連携をはかりながら、実情に応じた適切な支援につなげるところ、根拠法令は、児童福祉法です。子育て世帯包括支援センター、これは正式名称は、母子健康包括支援センターの名の通り、妊娠期から出産、新生児、多分小美玉市は1歳までかと思いますが、対象とした健診、健康面における相談等が主な業務になるかと考えます。そういうところを踏まえて、これまで令和元年度の第4定例会、これも私のほうからお尋ねした、子育て相談窓口1本化に向けた行政機構改革について、また、令和3年第4定例会の、茨城型地域ケアシステムを活用したファミリー支援による若年化支援についての質問等々を通じ、子育て世帯包括支援センター及び、子ども家庭総合支援拠点における相談等において、市の共通見解として、どこの窓口相談しても必要なところへ繋げていくと、この関係各課と情報共有と連携の強化をはかることで、市民ニーズに対応していくという旨の答弁でございました。そうした中、今定例会の一般質問の中で、2名の質問に対する教育部長答弁と市長答弁ですね。子育て世帯包括支援センターと、子ども家庭総合支援拠点の一元化、窓口の1本化をはかる旨の明確な答弁があったと私は受け止めております。こういう意味で、本市の子育て施策におけるこれは大きな前進であり、私は大いに評価をさせていただきます。これを踏まえてお訪ねいたします。まず、1点目ですが、子育て世帯包括支援センターと、子ども家庭総合支援拠点の一元化相談窓口の1本化、この青写真をどのように描いておられるか、現時点で結構ですので、お答えください。

○委員長（村田春樹君） 尾形子ども課長。

○子ども課長（尾形 健君） 今の現状なんですけども、子ども家庭総合支援拠点の実施は、令和4年4月からスタートできておりません。また、国のほうでは、令和4年4月にということで設置のほうの通達があったわけなんですけども、先週の一般質問において2名の答弁、市長の答弁の中でも一体化という話がございましたが、来年度に向けて、子ども家庭相談支援拠点の実施と、子育て世帯包括支援センターを連携強化しまして、内部で調整いたしまして、令和5年からスタートできるように調整して参りたいと思います。

○委員長（村田春樹君） 谷仲委員。

○11番（谷仲和雄君） ありがとうございます。それでは、最後私のほうから、今後の課題、これ一番大きな課題等を踏まえながら、こういう課題があるんじゃないかということをお話させていただいて終わりにいたしますが、まず、1つは、一元化をはかるために、当該施設の運営に必要な専門職種と専門職の人員、これをしっかり確保の見通しを立てないといけな

いかなと思います。一例として、保健師の資格を持った地域ケアコーディネーターさんなどが、窓口のところではイニシアチブをとって活動できるような仕組みですかね。もう1つ、世代、何歳から何歳までと分けていくのではなくて、生まれてから、子どもからお年寄り全ての世代、全てをひっくるめた包括という意味の地域包括、今後のところにもなってくるかとは思いますが、地域包括支援センターの関係性をどう繋いでいくかというところも、そこには必要になってくるかなというところ、ここらへんそこに向けてこれから前に進んでいただければと思います。そのところを付け加えさせていただきます、私の質問のほうをこの件に関して終わらせていただきます。どうもすみませんお時間いただきまして。ありがとうございました。

○委員長（村田春樹君） 鈴木委員。

○7番（鈴木俊一君） 今月の25日にニュースポーツ大会を開くということだったんですけども、茨城県のニュースポーツ協会の会長が、前の羽鳥小学校の校長先生だった助川先生が会長をやられているんですよ。そこに全然話、主催にも後援にも茨城県のスポーツ協会に入っていなかったんで、助川先生寂しがっているんじゃないかと思ひまして、せっかく羽鳥小学校の校長先生をやっていた方が現在ニュースポーツの普及に取り組んでいるんで、小美玉市でやるときにも多分今頃寂しがっていると、その経緯、茨城県ニュースポーツ協会が入っていなかったというのがなにかあるんでしょうか。

○委員長（村田春樹君） 鈴木スポーツ推進課長。

○スポーツ推進課長（鈴木和広君） 只今の、ご質問についてお答えさせていただきます。茨城県のニュースポーツ協会さんと一緒に連携して、今回私どもで5月25日に開催する大会については、連携していないのが実情でございます。経緯といたしましては、今回コロナで昨年、一昨年、2年間続けてニュースポーツ大会が中止になっていたという経緯もございまして、今回大会につきまして開催規模を縮小し募集人員を大幅に減らしたものでやらせていただき、コロナの影響化の中で最低限人数に制限させていただいて、なんとか大会の方だけは実施したいというのがございまして、あとはスポーツ推進委員さんにサポートしていただいている経緯がございましたので、今回については大会の規模の縮小とあわせて推進委員さんのほうで大会のルールを把握されており進行もできるという判断で、県のニュースポーツ協会のほうと連携を図っていないのが実状でございます。以上でございます。

○委員長（村田春樹君） 鈴木委員。

○7番（鈴木俊一君） 規模を拡大してやる時とか、せっかく小美玉市で校長先生やっ

の方が頑張られているんで、一声かけてあげると喜ぶかなと思います。よろしくお願いたします。

○委員長（村田春樹君） 山崎委員。

○1番（山崎晴生君） 先ほど、抗原検査キットの質問をさせていただいたんですが、小学校備蓄があるということだったんですけども、冒頭市長のほうからもお話があったように、保育園とか、幼稚園とか、高齢者施設でクラスターが起きているということで、抗原検査キット等の保育園、幼稚園とか施設等々に関しての備蓄状況とか、市からの提供とかは、今現状どうなんでしょうか。

○委員長（村田春樹君） 長谷川教育指導課長。

○教育指導課長（長谷川正幸君） 只今のご質問で抗原キットの保有している数というか。

○委員長（村田春樹君） 山崎委員。

○1番（山崎晴生君） 学校にはこれから抗原検査キットの先ほど補正であがっていたので購入すると思うんですけども、介護とか、保育園とか幼稚園とかに対しての抗原検査キットを市のほうから買って提供しているというような実績とか。

○委員長（村田春樹君） 佐藤教育委員会理事。

○教育委員会理事（佐藤雅記君） 幼稚園と保育園は、保健所で対応していただいていますので、こちら教育委員会から抗原検査キット配布することは、今のところ実績等ありません。以上です。

○委員長（村田春樹君） 山崎委員。

○1番（山崎晴生君） 福祉施設のほうはどうでしょうか。

○委員長（村田春樹君） 太田介護福祉課長。

○介護福祉課長（太田由美江君） 高齢者の福祉施設についてでございますが、抗原検査キットのほうは施設のほうでご用意していただいております、市のほうで備蓄があって提供する状況ではございません。以上です。

○委員長（村田春樹君） 山崎委員。

○1番（山崎晴生君） 福祉施設等々で、抗原検査キットが足りないよというのが結構あったので、あと各施設自腹で3,000円ぐらいでその都度購入しているような形でありますので、要望としてお聞きいただければと思います。

○委員長（村田春樹君） そのほか何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ声あり〕

○委員長（村田春樹君） ないようですので、この後は議会報告会についてとなりますので、執行部におかれましては散会としたいと思います、委員の皆さんよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ声あり〕

○委員長（村田春樹君） それでは、ここで執行部におかれましては散会といたします。お疲れ様でした。

（執行部退席）

○委員長（村田春樹君） それでは、次に、今年の議会報告会は、昨年に引き続きコロナ禍により中止となりました。昨年と同じように報告内容をまとめてホームページ等でお知らせすることになっております。文教福祉常任委員会の付託議案や所管事項の中で、これは議会報告会において報告した方が良いというものがあれば、ご提案いただきたいと思います。報告会資料を3つほどご用意いたしました。

1つ目の03_R4文教福祉（議会報告会）は、副委員長と報告案としてまとめてみました。報告案については、所管事項から5つほど抜粋しております。

それから、参考までに、昨年の資料04_第7回議会報告会資料P14-16及び、この一年の当委員会の付託議案等をまとめた審議案件を用意いたしましたので、これを見ながらご提案等いただければと思います。

谷仲委員

○11番（谷仲和雄君） こちらの内容は、委員長、副委員長のほうにお任せする形で私はいと思います。この資料のほう、これは令和、こういう資料の中で、要は、議会、執行部の提案に対して議会の議決、この議決により市民の皆さまの生活でこうなりました、そこですね。執行部がやっていることをそのまま載せるのではなくて、執行部から議案であがってきて、議会で議決したことによってこうなっているという、そのところを明確にさせていただく形で、こういう形の議案でというような報告の仕方かなと思います。議会のスタンスとしてはよろしくをお願いします。

○委員長（村田春樹君） ただいま、委員長、副委員長に一任とのございますので、報告案で5つ提案しておりますが、ページ、スペースに限りがありますので、例えば、(1)(2)は必須で、(3)はスペースがあれば掲載するというような、優先順なども相談しながらやっていきたいと思います。

谷仲委員

○11番（谷仲和雄君） もう1点、今のあれで、そのあがったやつをのつける前に、議員さ

んにお目通しの確認を、そこをいただければ有り難いと思います。よろしく申し上げます。

○委員長（村田春樹君） 終わったら委員の皆さんに、分かりました。

それでは、副委員長と相談しまして報告案を提出いたします。本日の審議及び協議は全て終了いたしました。

それでは、副委員長、お願いいたします。



◎閉会の宣告

○副委員長（島田清一郎君） 以上をもちまして文教福祉常任委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

午前11時34分 閉会